

Ⅲ 県立図書館がめざす図書館像

学習情報の拠点施設である県立図書館は、生涯学習施設として、県内のすべての地域や住民に貢献し活用される開かれた図書館をめざし、閲覧や貸出、レファレンスなどの機能を維持・発展させながら、次のことに取り組んでいきます。

1 県民のための図書館

(1) 幅広い資料の収集と保存

県内の中核図書館として、子どもから高齢者に至る幅広い年齢層の読書や生活・仕事上の課題解決などのニーズに対応できるよう下記の資料を収集・整理・保存し、提供していきます。

- 図書資料：一般書、専門書、参考図書（辞書・事典等）、児童書、新聞・雑誌など。
- 郷土資料（和歌山県に関する資料）：歴史的な資料、行政資料、地域内出版物、地域関係資料など。
- 視聴覚資料：DVD、CD、ビデオなど。

(2) 地域格差をなくすサービスの提供

県立図書館が所蔵する様々な資料を、市町村立図書館・図書室等を通じて県内全域に提供することにより、地域格差の解消に努めます。

(3) 市町村立図書館・図書室の振興

県立図書館として県内すべての市町村立図書館・図書室の振興を支援します。また、県教育委員会生涯学習課と連携し、市町村の司書や関係職員がスキルアップするために下記の取組などを行います。

- 県公共図書館協会と連携した研修を実施します。
- 市町村が主催する研修に協力します。（出張講座等）
- 市町村関係職員の研修の受け入れを行います。

(4) 読書活動の推進

読書への興味・関心が高まるよう環境の整備を推進するため、下記の取組を実施します。

- 講演会等を開催し、県民の自主的な読書活動を推進します。
- 手づくり紙芝居コンクール、おはなし会、図書館ウォッチング等を実施し、読書との関わりを深めます。
- 時節や行事に関する図書などの企画展示を行います。
- 関係機関等との連携を積極的に行います。

(5) 学校教育への積極的な支援

児童・生徒の豊かな心やことばの力などを育むとともに、学習活動に必要な図書の貸出や出張講座の開催など、様々な支援を行います。

○団体貸出の促進

学校、幼稚園、保育所、市町村立図書館・図書室、家庭文庫、読書会等、読書活動を行う団体を対象に長期一括貸出を行います。

○出張講座の開催

司書が学校等に出張し、本の選び方、読み聞かせに関する講話や実演などを行うことにより、子どもたちが本と出会い、本に親しむ場を提供していきます。

2 情報や学習機会を提供する図書館

(1) 調査相談（レファレンス）サービスの充実

多様化する様々な利用者ニーズに対応するため、司書及び職員のスキルアップを図ります。

(2) 生涯学習活動の推進

生涯学習に関する情報や場の提供に努めるとともに、ボランティアなどによる自主的な活動を支援し、県民の生涯学習活動の活性化、さらに地域コミュニティの拠点となるよう下記の取組を推進していきます。

○生涯学習情報の提供や相談対応を行います。

○生涯学習の場（機会）を提供します。

○NPOやボランティア等による自主活動を支援します。

(3) インターネット等を利用したサービスの充実

利用者の利便性を高めるため、ホームページやフェイスブックの充実に努めるとともに、インターネット等を活用して下記のサービスを提供していきます。

また、新たなサービスについても検討を進めていきます。

○所蔵資料の検索や予約手続き。

○貸出期間中の延長手続き。

○レファレンスの申込みと回答。

3 郷土の歴史と文化を大切にする図書館

和歌山県に関する様々な資料を収集・整理・保存し、郷土の「歴史と文化」を未来に伝えていきます。

○展示や所蔵資料（南葵音楽文庫、濱口梧陵文庫など）等の紹介や、関係機関と連携した講演会の開催等により郷土について学ぶ環境づくりを行います。